

×
五

起案		昭和十八年六月八日	施行	昭和十八年六月八日	完結	昭和十八年六月八日
接受		昭和十八年六月八日	施行	昭和十八年六月八日	完結	昭和十八年六月八日
起案		昭和十八年六月八日	施行	昭和十八年六月八日	完結	昭和十八年六月八日

官人第三三三三號

決裁

昭和十八年六月八日

書印

合校

送發

大臣

次官

人事課長

課長

人事課長

課長

昭和十八年六月八日
人事課長
大員

此撰記、中別紙、通批舊稿、可以即裁計州
成、及同家候、

明三都府

(起案用紙三號ノ三)

規格-B5 (重量3,195)

REEL No. A-1222

0133

アジア歴史資料センター

軍政要員候補者名簿						
任地	官職名及 現官等俸給 （發令年月日）	司政官（技師）ニ轉出ノ場合ノ希望官等俸給	任用資格及學歴	功位勳爵	氏名 生年月日	現勤務地
マカッサル 研究所 造林	南洋廳熱帶產業研究所技手 三級俸 昭和一九三〇	海軍技師 七等九級	（七） 東府農林學校 （大正四年）		岡部正義 明治二九一・二・一〇	南洋群島 パラオ諸島 コロール島
同畜産	南洋廳熱帶產業研究所技手 四級俸 昭和一九三〇	海軍技師 七等十級	（七） 東大農學部 實科 （昭和三年）		吉田達二 明治三八一・二・二七	同
同 病理昆虫	南洋廳熱帶產業研究所技師 七等九級 昭和一九三五	海軍技師 七等九級	（七） 東大農學部 （昭和八年）	從七	熊澤誠義 明治三七二・二・二八	同

日本標準規格 B5

南洋廳

人 薦 推

五四三二一

履歷官ハ總て格書ニ記入シ二通提出スベシ
 辭令ハ其ノ全文掲クベシ
 官階ハ其ノ勅任奏任判任又ハ勅奏判任待遇ト記スベシ
 姓名階ニハ勅令ヲ發シタル職名ノ官名等ヲ記スベシ
 事項階ニ記載スベキ事項タル左ノ如シ
 學業、任官、免官、（疾病、自己便宜又ハ休職及（朱
ハ辭官ハ辭職、過勞、増俸、病氣、）時令等（朱
 書）轉官、轉職、過勞、増俸、病氣、時令等（朱

免、管外出張並歸朝、叙位、叙勳、叙職、定期其書、兵役ノ張シタル事項、分調ノ職、委任ノ命書、

履歷書野紙(甲)

原籍	一 福島縣耶麻郡猪苗代町	爵	
地名	字新町四九一七番地	氏	岡
出生地名		部	正
生年月日	明治二十九年十二月十日生	名	義
年 號	月 日	項	官階
事		廳	名
大正 四	三二七	東京府立農林學校卒業	
"	八三	日新護謨株式會社雇員ニ採用セラル	日新護謨株式會社
"		英領新嘉坡安茂鄉園在勤ヲ命セラレ月俸銀十八弗ヲ支給セラル	
"	五	同會社社員ニ任ゼラレ月俸銀二十弗支給	
"	六	月俸銀二十三弗支給セラル	
"	一一	月俸銀三十弗支給セラル	
"	八	月俸銀三十八弗支給セラル	
"	九	月俸銀八十五弗支給セラル	
大正 九	一一	新嘉坡營業所製造部主任ヲ命セラル	
大正 九	一一	月俸銀一百三十弗支給セラル	日新護謨株式會社
"	一一	家事上ノ都合ニヨリ退職ス	
"	一二	助手ヲ命シ月俸金五十圓給與ス	林業試驗場
"	一二	月俸金五十四圓給與ス	"
"	一三	月俸金五十八圓給與ス	"
"	一四	小笠原營林署部内ニ於ケル造林ニ關スル調査ヲ囑託ス	東京營林局
"	一五	月俸金六十三圓給與ス	林業試驗場
"	一五	月俸金六十八圓給與ス	"
昭和 二	一一	任營林署技手兼林業試驗場技手	農 林 省
"		給月俸六十八圓	
"		東京營林局管内在勤ヲ命ス	
"		林業試驗場小笠原出張所在勤ヲ命ス	
"	一二	給月俸七十圓	
"	四	給六級俸	

人 薦 推

五四三二一

履歷表ニ總て楷書ヲ記入シ二通提出スベシ
姓名ハ其ノ左ニ文ヲ掲ケテ記スベシ
官階ニハ勅任奉任判任ハ勅奏判任特選ト記スベシ
職名ニハ勅任奉任判任ハ勅奏判任特選ト記スベシ
事項欄ニ記載スルモノ並ニ條項下ニ如シ
學業、任官、免官（疾病自己便宜）休職及（朱
書）轉官、轉職、進等、増降、病氣、歸省等（朱

費、管外に出張勤務、叙位、叙勳、命職、委員、命
免、管外に異動シタ事項、分課、命令、定期其
賞罰、年未記入ノ如キ當（朱書）失言、（朱書）恩給
加算（若し出期金等共ニ恩給法ニ依リ從軍中凡在職平
加算ノ始終期）官制改正（朱書）

履歴書封紙(甲)

原籍	富山縣東礪波郡山野村	族籍	平民	氏名	吉田達三
地名	高屋一〇二二	出生地名	原籍地ニ同シ	名	
生年月日	明治三十八年一月二十七日生	舊氏名	右ニ同	項	
年號	月日	事	官階	廳名	
大正一一	三一、一九	富山縣立福野農學校卒業			
昭和二三	三、三〇	東京帝國大學農學部農學實科卒業			
"	六三、二〇	帝國農會ニテ農業經營事務見習ヲ受ク			
"	五三、〇三	任技手 但月俸金六十五圓給與			栃木縣農會
"	八	月俸金七十五圓給與			"
"	四二、四	依願解職			"
"	四三、〇	任東京帝國大學助手 給月俸金六十八圓			東京帝國大學
"		農學部勤務ヲ命ス			"
"	一〇	給六給俸			"
南洋廳					
昭和一一	一一、二五	南洋廳へ出向ヲ命ス			東京帝國大學
"	一一、三〇	任南洋廳熱帶產業研究所技手 給六給俸			南洋廳
"		熱帶產業研究所勤務ヲ命ス			"
"	一一、九	パラオ島到着			
"		畜産係主任ヲ命ス			南洋廳熱帶產業研究所
"	一一、三	分任收入官吏ヲ命ス			"
"		物品會計官吏ヲ命ス			"
"		統計主査ヲ命ス			"
"	一四	分任收入官吏ヲ免ス			"
"	三一、七	物品會計官吏ヲ免ス			"
"		統計主査ヲ免ス			"
"	三、三一	給五給俸			南洋廳
"	四、一	大正十二年秘第二五號ニ依ル出發 内地着四月二一日			期間五〇日
"	六、一六	歸廳 内地發六月六日船待滞在日			

[illegible]

履歷書罽紙(乙)

大正十一年秘第一二五號ニ依リ上京中ノ處豚肉

其ノ他農産改工貯藏調査ノ爲東京府千葉縣へ出張ヲ命ス

但シ賜暇期間中十日間

昭和四一、二

畜牛受取竝ニ畜產狀況調査ノ爲臺灣へ出張ヲ命ス

11

但シ十一月二十三日**パラオ**發豫定泰安丸ニテ出發

11

十二月下旬基隆發豫定南星丸ニテ一月七日バテオ

11

着迄

一六
九三〇

給四級俸

原籍	東京府東京市本郷區	族籍	熊澤誠美
地名	龍岡町五番地	氏名	熊澤誠美
出生地名		名	
生年月日	明治三十七年二月二十八日生	舊氏名	
年號	月日	事項	官階廳名
大正六	四一	東京高等師範學校附屬中學校入學	
"	一一	三三一	同中學校卒業
"	一四	四一	東京高等學校高等科理科甲類入學
昭和五	三三一	同高等學校高等科同類卒業	
"	四一	東京帝國大學農學部農學科入學	
"	八	三三一	同大學同學部同學科卒業
"	四二六	東京帝國大學農學部副手ヲ囑託セラル	
"	一一二	成城高等學校講師兼成城高等女學校講師ヲ命セラル	
"		月九拾圓支給セラル	
南洋廳			
昭和一四	六二五	依頼東京帝國大學農學部副手囑託ヲ解カル	
"		依頼成城高等學校講師兼成城高等女學校講師ヲ免セラル	
"	六二五	群馬縣立勢多農林學校敎諭ニ任セラル	
"		五級俸給與	
"	一六	一五	任南洋廳熱帶產業研究所技手
"		給三級俸	
"		熱帶產業研究所勤務ヲ命ス	
"	一七	四一	熱帶產業研究所コロール分室勤務ヲ命ス
"	六	五	兼任南洋廳技手
"		巴拉オ支廳勤務ヲ命ス	
"	一八	五一四	任南洋廳熱帶產業研究所技師
"		敘高等官七等	
"		九級俸下賜	
"			大東亞省

五三二一
 履歷ヲハ總テ指稱シテ記入シテ二通提出スベシ
 辭令ハ其ノ全文ヲ掲ケタルシテ
 官階職ニハ勅任奏任判任又ハ勅奏判任特選ト記スベシ
 姓名階級ニハ辭令ノ發給タル職官名等ヲ記スベシ
 事項關ニ記載スルハ條理順次ノ如シ
 學業、任官、免官（疾病、自己便宜）
 休職及（朱
 轉官、轉職、通等、停廢、病氣、歸省等）（朱

免、管外出張歸朝、叙位、叙勳（職外、定期其
書）兵役（シタル事項、分課ノ命免、委員ノ命
賞罰）年未賞與ノ如キ常（朱書）失官、（朱書）恩給
（舊選出賜金等）恩給法ニ依ル從軍年及在職年
加算ノ始結期、官制改正（朱書）

履歷書對紙(甲)

東人秘第九七號

昭和十年五月二十四日

南洋廳長官官房秘書課長



大東亞大臣官房人事課長 殿

占領地軍政要員ノ人選方ニ關スル件

五月十二日附官人第二一三七號ヲ以テ御來照首記ノ件ニ關シ左記ノ者
適任ト認メ技師ニ推薦致度候ニ付何分ノ御回報相煩度候
尙技手ニハ適任者ナキ爲其ノ意ニ副ヒ難ク候ニ付御了承相成度

記

南洋廳

一、造林關係（技師ニ） 南洋廳熱帶產業研究所技手 岡部 正義

二、畜產關係（技師ニ） 〃 吉田 達二

三、病理昆蟲關係（技師ニ） 南洋廳熱帶產業研究所技師 熊澤 誠義

（終）

B-4 (タイプライター用紙)

接 受 案	昭和十八年五月十一日	決 裁	昭和十八年五月十一日	校 合	發 送
施 行	昭和十八年五月十一日	完 結	昭和十八年五月十一日		

第 三 一 五 號

人事課長 田中

系小

南洋駐在事務課長 田中

上級駐在事務課長 田中
首級駐在事務課長 田中

人事課長 田中

栗

南齊東宮書錄

五領世系政要對人豐方商主江
首題、中、南、梅、草、商、三、月、法、氣、左、記

長庚亞星

卷二 第二十一號

決
裁

昭融和拾年正月拾貳日

淨口

合校

發 送

起案	昭和十八年五月十一日
接受	昭和十八年五月十一日

施行

關和拾 仟年三月拾貳日

3

昭和

"

11

人前就遣方中越のふくみ、通法を
 人前、上、出、就、遣、方、中、越、の、ふ、く、み、通、法、を
 是、等、修、補、方、中、越、の、ふ、く、み、通、法、を
 ル、名、等、修、補、方、中、越、の、ふ、く、み、通、法、を
 ニ、セ、リ、テ、三、部、の、送、附、の、改、修、

◎「マカッサル」研究所製林外産物要覧

残	身	控	部
造林三南スル	一	一	一
造林三南スル	一	一	一
造林三南スル	一	一	一

(備考)

控部ニ少壯有、専ら家ノ控部ニ希ニス

(起家用紙三號ノ三)

規格-B5 (東東3,195)

現職者

格

軍政要員候補者名簿

現勤務地	生年月日	位・勳・爵	任用資格及學歷	司政官(技出)				現官職名及俸給	現官等俸給(發令年月日)	擔任業務
				望官等俸給	官場合	師二轉	官職名及俸給			

大東亞省

タイプライター用複写用公衆(20頁厚紙)

(製法2102) (日本標準規格B4)

軍政要員候補者名簿

軍政要員候補者名簿

	現勤務先及司政官（技 地職務並本俸師）ニ轉出 任 擔任業務 發令年月日望官等俸給	任用資格 及學歷	略歷	功位勳爵氏生年 月日	現勤務地

拓務省

(赤澤納) 117.81

アイブライター用紙(赤澤納)

タイプライター用紙（赤澤納）

(日本標準規格 B4) 400 × 250

内閣人軍第一二五號

昭和十八年五月十日

内閣書記官長

星野直樹

大東亞次官 山本熊一 殿

占領地軍政要員ノ人選方ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ海軍次官ヨリ甲出之有リ候事貴省ヨリ左記人員ヲ派遣
スル様致候至急候補者銓衡ノ上高等官タル候補者ニ付テハ内閣書記官
長ニ判任官タル候補者ニ付テハ海軍次官ニ夫々推薦相成度候

記

◎「マカツサル」研究所農林水産部要員

職	務	技師（奏任）	技手
造林ニ關スル		一	一
畜産ニ關スル		一	一
病理昆蟲ニ關スル		一	一

（備考）

右ハ南洋廳關係ヨリ銓衡セラレ度尙技師ハ少壯有爲ノ専門家
ノ拔擢ヲ希望ス

2137
18.5.11

次 官 会 人事課長		案 課 長	南洋廳長官宛	左記通發令相成タル日海軍省ヨリ通報越タルニ 付及通知候
起 案 昭和十八年七月九日	接 受 昭和十八年七月九日	決 裁 昭和十八年八月十日	決 裁 昭和十八年八月十日	校 合 送 發
結 昭和十八年八月十日		送 發		

記	
南洋熱帯産業研究所技師能澤誠義	南洋熱帯産業研究所技師岡部正義
同	吉田達二
任海軍技師	
敍真等官々等	
昭和十八年七月五日	内閣
海軍技師能澤誠義	岡部正義
同	
賜九級俸	
補了方ヲ研究所所員	
同	吉田達二
賜十級俸	

(起案用紙三號ノ三)

規格一B5 (東東459)

大日本帝國政府

補了カフサル研究所所員

昭和十八年七月五日

海軍省

18

（國定規格B5公文書紙）

人秘第一編ノハシ

昭和十八年七月八日

大東亞大臣官房人事課長 殿

海軍省人事局第一課長 殿

任官發令ノ件通知

左記ノ通發令セラレ候

記

南洋羣島常陸研究所技師

服澤誠二

南洋羣島常陸研究所技師

岡部正義

同

吉田達二

任海軍技師

級高等官七等

昭和十八年七月五日

海軍



秋

賜九級俸

細マカツサル研究所所員

同

吉田達二

賜十級俸

細マカツサル研究所所員

昭和十八年七月五日

海軍省

(終)



海軍